

## (融資申込書 記入例)

### 平成24年度技術開発基金による融資申込書の記入例

次ページからの記入例は、申請書を書かれる方々が記入方法を理解しやすいように作成した架空の研究開発についての記入例であり、未記入の箇所や記載内容に矛盾するようなどころもあります。ご了承ください。

なお、例年誤りが多く、特に皆様に注意をして頂きたい箇所等は次の通りですので、提出にあたってはお間違えのないように、充分ご確認下さいますようお願いいたします。また、その他でご疑問の点等がありましたら、下記事務局へお問い合わせ下さいますようお願いいたします。

### 注意事項

1. 表紙の研究開発費総額は、平成24年度分のみの金額を **1,000円未満切り捨て**て記入して下さい。  
例えば、3年計画の研究であっても3年分の合計額ではなく、平成24年度分だけの金額を記入して下さい。
2. 表紙の補助交付申請額は、平成24年度分の研究開発費総額に補助率をかけた金額以下とし、1.0万円未満は切り捨てた、平成24年度分のみの金額を記入して下さい。
3. 別紙1 研究開発計画書 総括表(1)表中の「実施予定期間」は対象となる応用研究の期間を記入し、基礎研究や応用研究後の研究開発などを実施する期間は含めないで下さい。  
例えば、平成24年度からの2年計画であれば、「平成24年4月～平成26年3月」と記入し、平成17年度から1年半の計画であれば、「平成24年4月～平成25年9月」と記入して下さい。
4. 別紙1 研究開発計画書 総括表(1)表中の「研究開発費」の「他からの助成の有無」については、他からも助成金を受けている場合には「有」を選択し、( )内にその助成制度の名称を記入して下さい。
5. 別紙1 研究開発計画書 総括表(2)表中の「何を見て申請しましたか」については、今回申請するにあたり募集の情報を入手した先を選択し、新聞ならば新聞紙名を、その他については、例えば業界誌ならば、業界誌名を記入して下さい。
6. 別紙2 研究開発費の明細 明細表中の費目等については、添付してあります付表を参照して下さい。
7. 別紙3 年度別計画表 1. 実施事項及び実施予定表について、複数年の研究開発では記入例のように年度ごとの研究開発費総額も( )を付けて記入して下さい。
8. 別紙4 当該融資金に係る収支見込 の「借入金」については、次年度以降も借り入れる計画であったとしても、平成24年度分融資申込金のみの収支見込みを記入して下さい。

#### 【事務局】

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16 海洋船舶ビル  
海洋政策研究財団(財団法人シップ・アンド・オーシャン財団)  
海技研究グループ 技術開発チーム  
TEL: 03(3502)1891 FAX: 03(3502)2033

(融資申込書 記入例)

平成〇〇年〇〇月〇〇日  
第〇〇〇号

財団法人 シップ・アント・オーシャン財団  
会 長 秋 山 昌 廣 殿

東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号  
〇 〇 〇 〇 株式会社  
代表取締役社長 〇 〇 〇 〇 (印)

平成24年度融資申込書

貴財団の寄附行為第4条第8号に掲げる融資を受けたいので、別紙必要書類を添え、下記のとおり申込みいたします。

記

- |             |   |
|-------------|---|
| 1. 研究開発名    | 電気推進高速小型モーターボート用動力部の製作方法に関する研究開発                    |
| 2. 研究開発費総額  | 20,000,000円   |
| 3. 融資申込額    | 16,000,000円   |
| 4. 融資の条件    |   |
| (1) 利 率     | 年2%   |
| (2) 償還期限    | 平成32年4月15日  |
| (3) 据置期間    | 2年6ヶ月   |
| (4) 償還方法    | 据置期間満了後毎年4月15日及び10月15日の定期日に割賦償還し、期限に完済する。           |
| (5) 利息の支払方法 | 毎年4月15日及び10月15日の定期日に当日までの分を後払いし、最終の支払いは融資の償還期限に支払う。 |

5. 融資を必要とする理由

PWC（パーソナルウォータークラフト）などに代表されるレジャー用の小型モーターボートが普及してくるとともに、その騒音や水中排気等が問題となってきております。

そこで、最近電気自動車の世界で急速に進歩している小型電動モーター及びバッテリーを舟艇用として改良し、従来にはない電気推進で高速航行が可能な小型モーターボートを開発いたしました。これを広く普及するためにはさらに、動力部の軽量・コンパクト化や省エネルギー化及び低価格化のための製作方法に関する技術開発を行う必要があります。このため多額の費用を必要とすることから、貴財団の技術開発基金による融資を仰ぎたく申請を申し上げます。

添付書類

- |                  |     |
|------------------|-----|
| (1) 研究開発計画書      | 別紙1 |
| (2) 研究開発費の明細     | 別紙2 |
| (3) 年度別計画表       | 別紙3 |
| (4) 当該融資金に係る収支見込 | 別紙4 |
| (5) 研究開発内容説明資料   | 別紙5 |
| (6) 会社概要（パンフレット） | 別添  |

別紙1 研究開発計画書

総括表(1)

研究開発名	電気推進高速小型モーターボート用動力部の製作方法に関する研究開発		
募集課題	重点課題 (1)・(2)・(3) / 一般課題 (1)・(2)・(3)・(4)・(5)・(6)・(7)		
実施予定期間	平成24年 4月 1日～平成26年 3月31日まで (2年間)		新規・継続
研究開発費	平成24年度 研究開発費		年度別 研究開発費総額
	研究開発費総額	20,000,000円	平成24年度 20,000,000円
	融資申込額	16,000,000円	平成25年度 20,000,000円
	自己負担額	4,000,000円	平成 年度 円
	補助率	80%	平成 年度 円
	他の制度からの助成の有無 ( )	有・無	平成 年度 円
区分・業種	大企業・中小企業・ベンチャー・その他		造船業・造船関連工業・その他
申請者名	住所 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 名称 ○○○○○株式会社 代表者名 代表取締役社長 ○○○○		
資本金/出資金	○○○○○○○○○○○○○○○円	従業員数	○○○○○人
研究開発の目的	PWC(パーソナルウォータークラフト)などに代表されるレジャー用の小型モーターボートが普及してくるとともに、その騒音や水中排気ガス等による水質汚濁が問題になってきている。 その解決策の一つとして、高速航行が可能な電気推進小型モーターボート用の動力部の製作方法に関する研究開発を行い、環境問題の解決に貢献し、小型モーターボートの一層の普及および我が国造船技術の向上、及び海事産業の発展に寄与することを目的とする。		
研究開発の具体的な目標(成果物)	小型・軽量で耐海水性・耐久性のある電気推進高速小型モーターボート用動力部に係わる電動モーターの巻き線方法、磁石取付方法、軽量化構造、水密構造等の動力部に関する製作方法を開発する。 当社製品比較で、従来の約○/○の消費電力、約○/○の軽重量化を目指す。		
研究開発内容の概要	最近電気自動車の方面で開発されてきた高速回転の「インホイールモーター」を基にした、電気推進高速小型モーターボート用としてコンパクト・軽重量、低消費電力、低価格で耐海水性・耐久性のある動力部の製作方法を研究開発するため、下記の項目を実施し、その結果に基づいて動力部を試作し試験する。 (1) 巻き線方法の研究: 電動モーターコンパクト化のために高密度の巻き線方法を研究開発する。 (2) 磁石取付方法の研究: 最適な磁石の材質、形状、配置を選定し、その取付方法を研究開発する。 (3) 軽量化構造の研究: 構造材の材質や形状、製造過程における組み立て効率等を研究開発する。 (4) 水密構造: 耐海水性能を考慮した水密構造、材質、製造過程における組み立ての高効率化等を研究開発する。  注) インホイールモーター: 自動車タイヤのホイールリムに収まるように、モーター、減速機構、コントロール回路をコンパクトな一体型パッケージとしたもの		
他の指導者又は協力者	(1) ○○○○大学 ○○学部 ○○学科 教授 ○○○○ (2) ○○○○株式会社 ○○○○部 部長 ○○○○		
研究開発実施担当者	〒○○○-○○○○ ○○県○○○市○○町○○丁目○○番○○ ○○○○○株式会社 ○○○部 部長 ○○○○	TEL	○○○-○○○○-○○○○
		FAX	○○○-○○○○-○○○○
		Eメール	○○○@○○○○.○○.○○○
連絡先	〒○○○-○○○○ ○○県○○○市○○町○○丁目○○番○○ ○○○○○株式会社 ○○○部 ○○課 課長 ○○○○	TEL	○○○-○○○○-○○○○
		FAX	○○○-○○○○-○○○○
		Eメール	○○○@○○○○.○○.○○○

総括表（2）

研究開発名	電気推進高速小型モーターボート用動力部の製作方法に関する研究開発
何を見て申請しましたか	財団ホームページ、新聞( )、その他( )
研究開発の目的を設定した社会的なニーズ・背景又は研究開発の動機	<p>PWC(パーソナルウォータークラフト)の騒音や排気ガス及び水中排気による水質汚染などによる環境への影響が社会問題となっており、特定水域での全面禁止を含む厳しい規制が行われつつあって、小型モーターボートの更なる発展のためには、環境問題の解決が求められている。</p> <p>弊社では、この問題を解決できる高速航行が可能な電気推進の小型モーターボートを開発したが、製品として販売し広く普及するためには、動力部の軽量・コンパクト化、省エネルギー化及び低価格化のための製作方法に関する研究開発が必要であるため。</p>
完成後の貢献先及び技術的・経済的效果	<p>完成後の貢献先</p> <p>小型モーターボートの環境問題を解決し、水上レジャーの振興に貢献することで、小型モーターボートの一層の普及および我が国造船技術の向上、及び海事産業の発展に寄与する。</p> <p>完成後の技術的・経済的效果</p> <p>発生騒音を〇〇dB以下に押さえることが可能であり、排気ガスが全く出ないので、NOx、SOx、PM、HC等は排出されず、水中排気による水質汚染もない。</p> <p>また、インホイールモーターを船舶用に高性能化し一般販売用に低価格化することで、新規技術を創造し、小型高速船の電気推進という新たな分野を開拓し、社会に船用機器のクリーンなイメージを与え、新規の船用市場を開拓できる可能性が高い。</p>
当該研究開発の基礎研究または応用研究となる研究	<p>平成19～20年度(基礎研究)</p> <p>基礎研究として、現状技術の調査、ユーザー調査、マーケット調査、基本コンセプト及び目標仕様の設定、応用研究実施項目の抽出、研究開発費用の検討を行い研究開発計画を作成した。</p> <p>平成21～23年度(応用研究)</p> <p>高速航行小型ボート用ウォータージェット方式船外機の電動化及びPWC用の電気推進ウォータージェットシステムを開発し、これを搭載する電気推進PWCの試作に成功している。</p>
従来技術と当該研究開発による技術との違い	<p>1. 消費電力が少ない軽量・コンパクトなウォータージェット用動力部</p> <p>ウォータージェットインペラーとモーターとの一体化を図った、画期的な磁石の取付方法及びコイル巻き線方法を採用することで、従来の電動モーターの約〇/〇の電力消費を実現させるとともに、従来製品よりも軽量でコンパクトな動力部を実現することが可能となる。(別紙5参照)</p> <p>2. 高速小型電気推進船用モーター</p> <p>電気自動車の方面では、従来にない高密度巻き線のインホイールモーターが開発されているが、今回開発しようとする動力部用の電動モーターでは、さらに巻き線密度を上げ、最新材料の採用や構造強度解析を行うことで一層の高出力、コンパクト、軽量化を目指す。(別紙5参照)</p> <p>3. 耐海水性</p> <p>ウォータージェットインペラーとモーターとの一体化によって、駆動軸における水密性は従来製品以上となり、耐海水性能は格段に向上する。(別紙5参照)</p>
最近の研究開発の実績	<p>下記の研究開発を行ってきた。</p> <p>1. 〇〇年度～平成〇〇年度</p> <p>小型高速艇用のウォータージェット推進装置の開発を行った。</p> <p>2. 〇〇年度～平成〇〇年度</p> <p>ウォータージェット推進装置に適した小型船型の研究開発を行った。</p> <p>3. 平成21年度～平成23年度</p> <p>上記の応用研究を実施した。</p>

総括表（3）

研究開発名	電気推進高速小型モーターボート用動力部の製作方法に関する研究開発
研究開発の流れ	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>基礎研究 (融資対象外) (平成 19～20 年度)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 150px;"> <p>現状調査、基本コンセプト作成、基本計画作成、研究開発計画</p> </div> </div> <div style="text-align: center;"> <p>応用研究 (融資対象外) (平成 21～23 年度)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 150px;"> <p>電気推進高速小型モーターボートの研究開発 電気推進 PWC の試作 船外機式電気推進モーターボートの試作 実船試験、問題点の抽出、総合評価</p> </div> </div> <div style="text-align: center;"> <p>工業化研究 (融資対象) (平成 24～25 年度)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px;"> <p>工業化研究（動力部の製作方法研究）</p> </div> </div> <div style="text-align: center;"> <p>平成 26 年度 以降</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px;"> <p>試験販売、改良、商品化、一般販売</p> </div> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>工業化研究の詳細フロー 融資対象 平成 24 年度 初期計画及び要素研究</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; margin-bottom: 5px;"> <p>①動力部構造の研究・基本設計 ・インベラーと電動機の一体化研究 ・基本仕様作成</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; margin-bottom: 5px;"> <p>②電動機一体型インベラーの研究 ・インベラーの検討・詳細設計 ・インベラー水槽試験</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px;"> <p>③電動機の研究 ・巻き線方法の研究 ・磁石形状、配置、取付方法の研究 ・軽量・コンパクト化研究</p> </div> </div> <div style="text-align: center;"> <p>工業化研究の詳細フロー 融資対象 平成 25 年度 試作機の製作と試験</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; margin-bottom: 5px;"> <p>④動力部全体の詳細設計 ・動力部製作仕様書作成 ・動力部製作図面作成</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; margin-bottom: 5px;"> <p>⑤動力部試作機製作</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; margin-bottom: 5px;"> <p>⑥動力部試作機試験</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px;"> <p>⑦動力部製作方法の</p> </div> </div> </div>

総括表（４）

<p>研究開発名</p>	<p>電気推進高速小型モーターボート用動力部の製作方法に関する研究開発</p>
<p>研究開発体制</p>	<pre> graph TD     TG[技術指導 〇〇〇(株) 〇〇〇部 〇〇〇〇] -- 指導 --&gt; RT[〇〇〇〇(株) 〇〇〇〇研究開発チーム]     subgraph RT_Box [〇〇〇〇(株) 〇〇〇〇研究開発チーム]         direction TB         MS[主幹 〇〇〇] --- DC[設計担当 〇〇〇]         MS --- PI[製作・実施担当 〇〇〇]         MS --- MG[経理担当 〇〇〇]     end     RT_Box -- 依頼 --&gt; U[〇〇〇〇大学 数値計算、水槽試験]     RT_Box -- 依頼 --&gt; MO[〇〇〇〇(株) 製作外注]     </pre>
<p>研究開発担当者の略歴等</p>	<p>氏名:〇〇〇〇〇 生年月日:昭和〇〇年〇〇月〇〇日(〇〇才)          所属及び役職: 〇〇〇〇〇株式会社 〇〇〇部 部長          最終学歴: 〇〇〇大学 〇〇〇学部 〇〇〇学科卒 専門分野: 〇〇〇〇〇工学</p> <p>職歴または研究開発経歴:          平成〇〇年〇〇月 〇〇〇〇〇株式会社入社 〇〇〇部 〇〇〇課に配属。          〇〇〇〇業務に従事。          平成〇〇年〇〇月 〇〇〇部 〇〇〇課に配転。 〇〇〇〇業務に従事。          平成〇〇年 〇〇〇〇〇〇の研究開発に従事。          平成〇〇年〇〇月 〇〇〇部 〇〇〇課課長。          平成〇〇年 〇〇〇〇〇〇の研究開発担当主任。          平成〇〇年〇〇月 〇〇〇部部長。</p> <p>研究論文:          (1)“〇〇〇〇〇〇〇〇〇の研究”、〇〇〇〇〇〇学会論文集第〇〇巻〇〇号、          平成〇〇年〇〇月          (2)“〇〇〇〇〇〇〇〇〇の開発”、〇〇〇〇〇〇学会論文集第〇〇巻〇〇号、          平成〇〇年〇〇月</p> <p>資格:技術士 〇〇〇〇〇〇部門</p>
<p>他の研究開発助成制度からの助成について</p>	<p>無し。</p>

別紙2 研究開発費の明細

平成24年度「電気推進高速小型モーターボート用動力部の製作方法に関する研究開発」  
研究開発費の明細表

補助金額(円)	自己調達額(円)	計(円)
16,000,000	4,000,000	20,000,000

(単位：円)

費目	細目	金額	算出根拠
人件費	臨時傭人給	(250,000) 250,000	作業補助 5,000円×50人日=250,000円
研究開発費	調査費	(18,950,000) 1,800,000	インペラーと電動機の一体化研究 主任技師 30,000円×30人日=900,000円 磁石形状、配置、取付方法の研究 主任技師 30,000円×30人日=900,000円
	研究委託費	2,250,000	コイル・磁石による発生磁場研究委託 主任技師 30,000円×50人日=1,500,000円 技師 25,000円×30人日=750,000円
	設計費	4,900,000	基本設計 主任技師 30,000円×20日=600,000円 技師 25,000円×20人日=500,000円 詳細設計 主任技師 30,000円×60人日=1,800,000円 技師 25,000円×80人日=2,000,000円
	製作費	1,600,000	水槽試験用インペラー模型 300,000円×2個=600,000円 モーター巻き線方法研究製作用ジグ 200,000円×5個=1,000,000円
	実験費	3,900,000	インペラー水槽試験委託費 2,000,000円 モーター巻き線方法試験 主任技師 30,000円×30人日=900,000円 技師 25,000円×40人日=1,000,000円
	解析費	4,500,000	インペラー水槽試験解析 主任技師 30,000円×20人日=600,000円 技師 25,000円×20人日=500,000円 モーター巻き線方法試験 主任技師 30,000円×30人日=900,000円 技師 25,000円×40人日=1,000,000円 軽量・コンパクト化構造解析委託費 主任技師 30,000円×50人日=1,500,000円
	物件費	機械器具費	(800,000) 800,000
計		20,000,000	

別紙3 年度別計画表

1. 実施事項及び実施予定表

(単位：円)

実施事項	年度	研究開発費	24年度	25年度	備考
1. 初期計画と要素研究		(20,000,000)			
(1) インペラーと電動機の一体化研究		3,000,000	3,000,000		
(2) 基本仕様作成		1,000,000	1,000,000		
(3) インペラーの検討・詳細設計		4,000,000	4,000,000		
(4) インペラー水槽試験		2,000,000	2,000,000		
(5) 巻き線方法の研究		5,000,000	5,000,000		
(6) 磁石形状、配置、取付方法の研究		3,000,000	3,000,000		
(7) 軽量・コンパクト化研究		2,000,000	2,000,000		
4. 試作機の製作と試験		(20,000,000)			
(1) 動力部製作仕様書作成		2,000,000		2,000,000	
(2) 動力部製作図面作成		3,000,000		3,000,000	
(3) 製作		10,000,000		10,000,000	
(4) 試験		3,000,000		3,000,000	
(5) 動力部製作方法のまとめ		2,000,000		2,000,000	
計		40,000,000	20,000,000	20,000,000	

2. 経費の支出計画表及び資金調達計画表

(1) 支出計画表

(単位：円)

費目	年度	研究開発費	24年度	25年度	備考
人件費		500,000	250,000	250,000	
調査研究費					
調査費		1,800,000	1,800,000		
研究委託費		2,250,000	2,250,000		
設計費		9,150,000	4,900,000	4,250,000	
製作費		11,800,000	1,600,000	10,200,000	
実験費		7,400,000	3,900,000	3,500,000	
解析費		5,500,000	4,500,000	1,000,000	
物件費		1,600,000	800,000	800,000	
計		40,000,000	20,000,000	20,000,000	

(2) 資金調達計画表

(単位：円)

区分	年度	研究開発費	24年度	25年度	備考
補助金		32,000,000	16,000,000	16,000,000	
自己調達額		8,000,000	4,000,000	4,000,000	
計		40,000,000	20,000,000	20,000,000	

別紙4 当該融資金に係る収支見込

(単位：円)

区分		年度		
		24年度	25年度	26年度
収入の部	借入金	18,000,000	0	0
	自己調達金	2,000,000	201,698	360,000
	計	20,000,000	201,698	360,000
支出の部	研究開発費	20,000,000	0	0
	支払利息	0	201,698	360,000
	借入金返済額	0	0	0
	計	20,000,000	201,698	360,000

(単位：円)

区分		年度		
		27年度	28年度	29年度
収入の部	借入金	0	0	0
	自己調達金	360,000	4,340,000	4,260,000
	計	360,000	4,340,000	4,260,000
支出の部	研究開発費	0	0	0
	支払利息	360,000	340,000	260,000
	借入金返済額	0	4,000,000	4,000,000
	計	360,000	4,340,000	4,260,000

(単位：円)

区分		年度		
		30年度	31年度	32年度
収入の部	借入金	0	0	0
	自己調達金	4,180,000	4,100,000	2,020,000
	計	4,180,000	4,100,000	2,020,000
支出の部	研究開発費	0	0	0
	支払利息	180,000	100,000	20,000
	借入金返済額	4,000,000	4,000,000	2,000,000
	計	4,180,000	4,100,000	2,020,000

## 別紙5 研究開発内容説明資料

平成24年度「電気推進高速小型モーターボート用動力部の製作方法に関する研究開発」

研究開発内容の理解が容易になるように、以下のような項目について明瞭かつ簡潔に表現した説明資料（説明図、参考図、概念図、ポンチ絵、比較表等を含む）として下さい。量は、A4縦版6ページまたはA3横版3ページまでとして下さい。

1. 社会的なニーズ、背景又は動機
2. 目的
3. 目標
4. 開発製品の特長又は従来技術との違い
5. 研究開発すべき技術課題
6. 研究開発の実施内容
7. 研究開発後の事業展開計画
8. その他捕捉資料

継続案件については、さらにこれまでの経過、進行状況、成果等について、上記とは別にまとめた説明資料（A4縦版4ページまで、またはA3横版2ページまで）を付け加えて下さい。

付 表

研 究 費 の 経 費 区 分 及 び 費 目 解 説

費 目	細 目 ( 例 )	金 額 ( 円 )	解 説
人件費	謝金 委員手当 臨時備人給	単価・数量を明らかにすること。	技術指導及び委員会等のために要する講師、謝金、指導料、委員手当等の諸謝礼金をいう。並びに当該事業に従事する臨時備人に支払われる賃金をいう。
旅費	職員旅費 講師又は委員旅費 旅費	単価、泊数、日数及び距離区間を明らかにすること。(旅費規程に基づくもの)	職員、委員等が事業を行うために旅行する運賃、日当、宿泊料をいう。
研究開発費	設計(又は製図)費 製作費 試作費 実験(又は試験)費 施設(設備)使用費 解析費 調査費 調査(研究)委託費	<p>単価、数量を明らかにすること。</p> <p>(人工費は財団基準単価による。)</p> <p>単価、数量及び回数を明らかにすること。</p>	試作、試験及び調査研究等のために要する設計(製図)費、材料費、製作費、実験(試験)費、試作費、工事費、施設(設備)使用費、調査費及び委託費をいう。
物件費	機械器具費 図書費 印刷費	物件名、仕様又は製品名等及び単価、数量を明らかにすること。(特に印刷費にあつては頁数とその単価も明らかにすること。)	機械器具費、図書資料費、資料作成費、印刷費
事務費	交通費 通信費	特定できるものは単価と数量等を明記し、それができないものは単価と日数を記入すること。	通信費及び近距離の連絡等のために支給する交通費をいう。
会議費	会場借用料 茶菓食事代	単価、回数を明記し、茶菓、食事代にあつては人員を記入すること。	会議のための会場借用料、茶菓、食事費をいう。
雑費	運搬費	距離、区間、車型(t数)を明らかにすること。	運搬費、その他以上の各費目に属さないものをいう。
計			